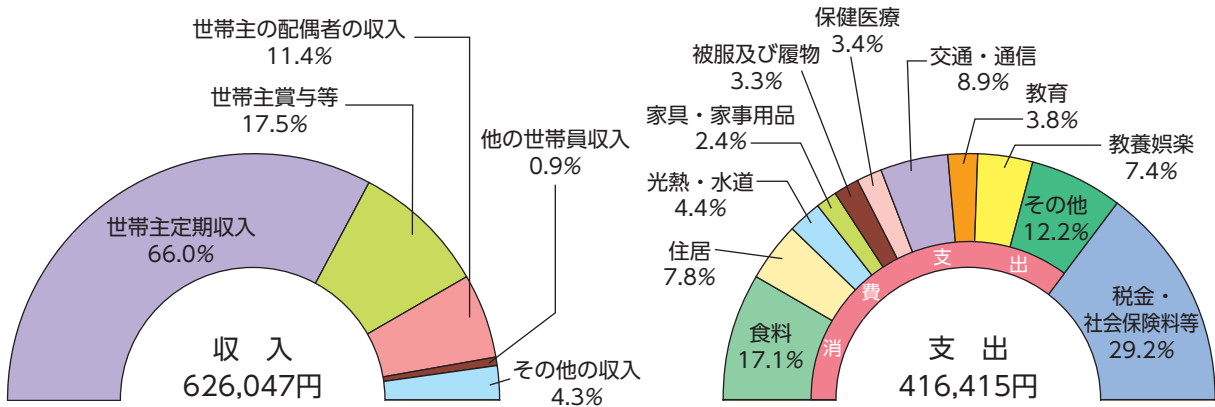


# 10 暮らし

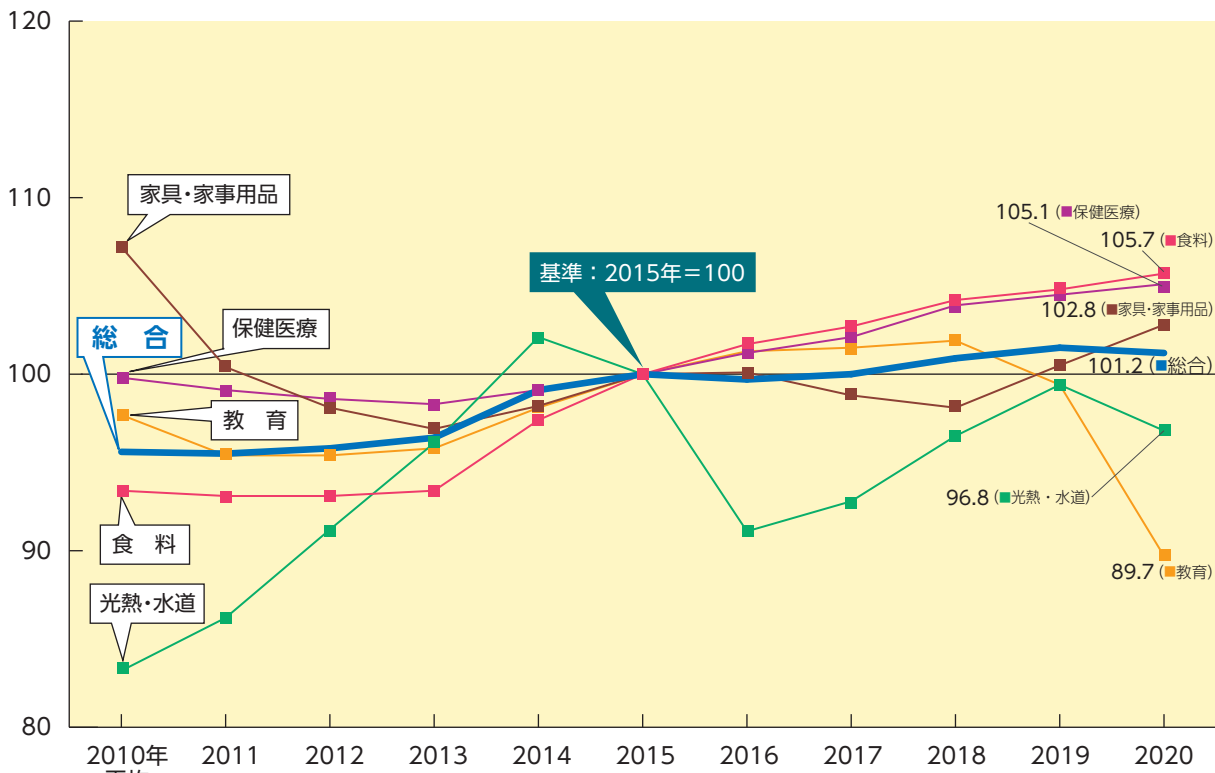
## ① 1世帯当たり1か月間の収入と支出(さいたま市・勤労者世帯) (2019年平均)



注) 収入とは、一般に言われる税込み収入のことで、世帯員全員の現金収入の合計である。支出とは、消費支出(生活費)と税金や社会保険料等の合計である。  
資料：総務省統計局HP「家計調査年報」

↑ 1世帯当たりの1か月間の支出は416,415円、そのうち食料費は71,275円で、エンゲル係数(消費支出294,867円に占める食料費の割合)は24.2%でした。なお、全国の数値は、24.0%です。

## ② 消費者物価指数(さいたま市・2015年=100)



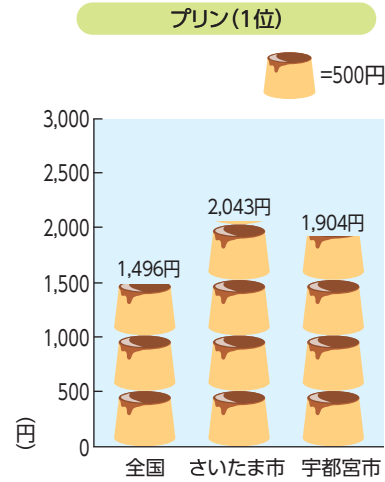
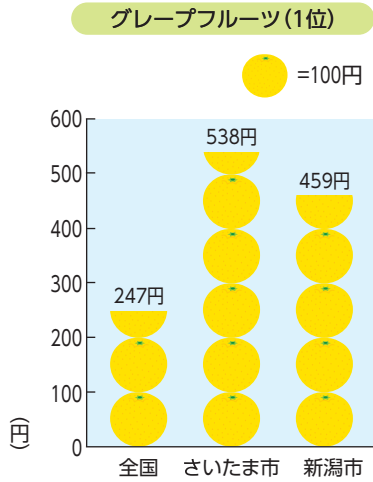
資料：総務省統計局HP「消費者物価指数」

### 「消費者物価指数」ってなあに？



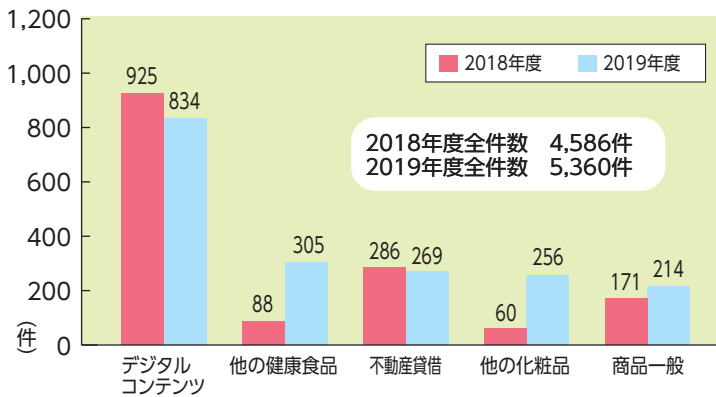
消費者物価指数は、私たち消費者が購入するたくさんの商品の価格の変化を総合し、平均的な物価の動きをみるための指標です。基準となる時点の物価を100とし、そこから物価がどの程度上昇又は下落したかを表しています。

### ③ 購入金額が全国で1位の食料品(さいたま市)



注) 1世帯当たりの年間購入金額(2017年~2019年平均)を都道府県庁所在市別に集計したものである。  
資料: 総務省統計局HP「家計調査」

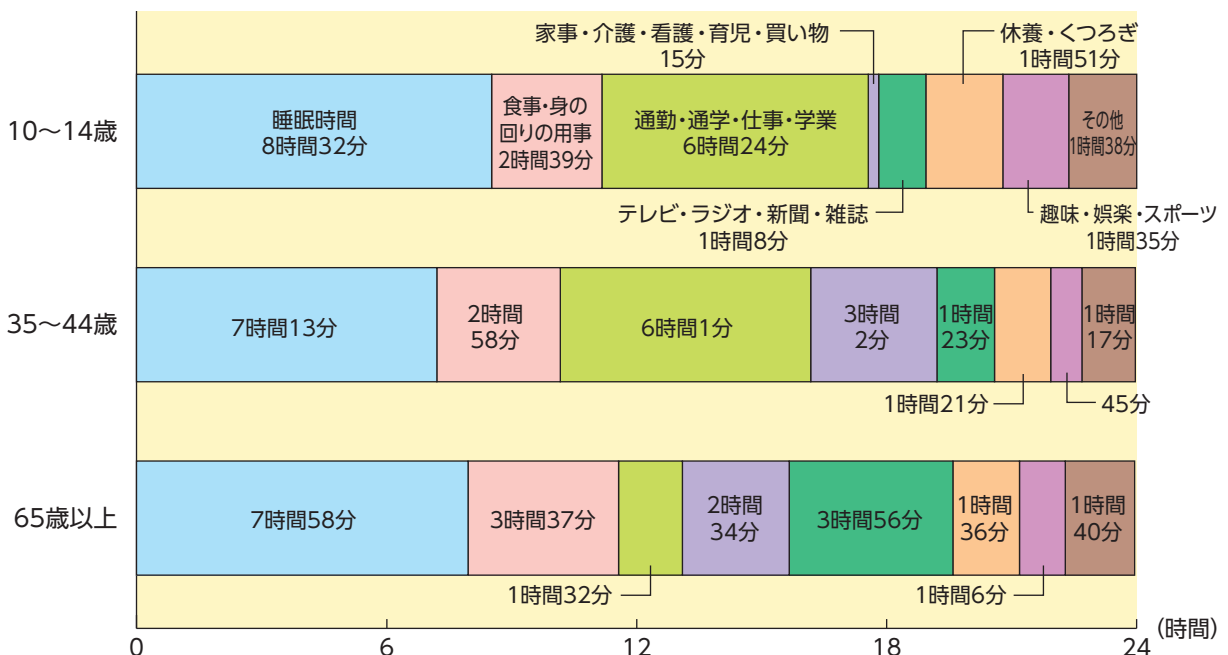
### ④ 若者の消費生活相談の相談件数(上位5項目)(2018年度・2019年度)



➡ 若者の場合、インターネットを通じて得られる情報サービスである「デジタルコンテンツ」に関する相談が全体の15.6%と多くを占めているほか、「他の健康食品」と「他の化粧品」の件数が大きく増加しています。

注) 契約当事者が29歳以下の集計。  
資料: 県消費生活支援センターHP「埼玉県消費生活相談年報」

### ⑤ 1日の生活時間(2016年10月)



注) 10歳以上の人の1週間の平均値。  
資料: 総務省統計局「社会生活基本調査」